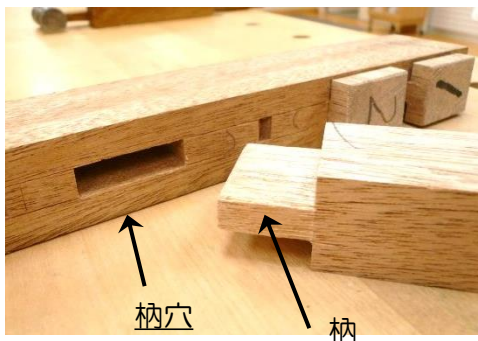




# 木工技術科 実習日誌 Vol. 4



ほそ ほそあな  
 今日は 柄 と 柄穴 について勉強します。  
 みんな、たくさん掘ってきた穴にぴったり納まる柄を  
 加工できるかな？



向こうまち鑿で掘った穴を 柄穴 (ほそあな) と言い、そこへ差し入れる部分を 柄 (ほそ) と言います。こうして二本の木を繋ぐ方法を 柄接合や柄組みと呼びます。

最近では柄接合を簡便に作れる機械が普及していますが、ここで習う昔ながらの柄接合が最も強度があると言われています。

## 《 柄の加工手順 》



完成！！

前回までの穴に差し入れてみて、はめ合いをみます。硬すぎず、緩すぎず、が基本です。



最初は縦方向を鋸で加工します。以前に練習をした柄挽き鋸を使って墨線の際を挽いていきます。



次は胴付き鋸で横方向を加工します。鋸挽きは修正の利かない一発勝負です。



次回は 鉋 (かんな) について勉強します。  
 家具職人という言葉から、鉋をイメージする人も多いのではないのでしょうか？  
 みんな極薄の鉋屑が出せるかな？